

秦野支援学校 E 高等部2年生

進路校外学習にいってきました



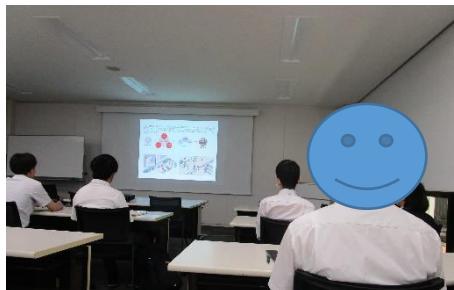
7月3日(木曜日)に、E 高等部2年生は2つのグループに分かれて、学校卒業後の**働く場所**を訪れ、学校卒業後に仕事をしていく上ではどんな力が必要か、学校にいる間にどんな力をつけてほしいかなどのお話をや、実際に仕事の場面を見学させていただき、さまざまな貴重な体験をさせていただきました。

A グループは、伊勢原市にある「神奈川能力開発センター」と「株式会社アマダプランテック」にいってきました。今回は、卒業後の生活をイメージできるよう秦野駅に集合し、公共交通機関を利用して見学地まで向かいました。

「神奈川能力開発センター」では2年間の寮生活をとおして、1年目は社会人として必要なマナー、コミュニケーションなどの職業の基礎的を学び、2年目は本人の希望や適性に合わせてさまざまなコースに分かれて職業スキルを高めていくことをおこなっていることを教えていただきました。また、実際に通われている方の指導をうけて、ポリッシャー、PCデザイン、メール便の体験もさせてもらいました。

「株式会社アマダプランテック」では、実際に人が働いている現場の見学をさせていただき、それぞれの現場で仕事体験もさせていただきました。

今回の見学を通じて、仕事について学ぶ場、それが実際の仕事現場に繋がっていることを実際の目でみることができたこと、そして学校卒業後にはたくさんの選択肢があることがわかったかと思います。



B グループは、秦野市にある「くず葉学園」にいって就労継続支援 B 型や生活介護の作業現場を中心に見学・体験をさせていただきました。体験では、検査管の組み立て作業やスタンプ押し、椎茸の軸切りなどさまざまな体験を通じて、生徒たちからは「毎日どれくらいの時間仕事をするんですか?」「これを続けるとどれくらいのお金になるんですか?」など仕事に対する興味関心の高さを感じられ、自身の卒業後の生活についてしっかりと考えようとする姿勢もみられました。



今回の校外実習の経験を、日々の進路学習に生かしていきます、ご協力いただいた企業・施設の皆様ありがとうございました。